

地域景況レポート

2024年「令和6年度第1期(4月～6月期)」

とっかけ

“太平洋を眼下に見下ろせる
絶景ポイント”



▲展望通路

◀展望入口

三崎公園「潮見台」

いわき市内外から多くの人を訪れる憩いの場・三崎公園の園内南側の丘からせり出した場所に「潮見台」があります。

太平洋の大迫力の景色が堪能できる人気のスポットです。展望屋上からの雄大な大海原や小名浜港、マリントワーなど360度のパノラマビューの景色も最高ですが、海に突き出した展望スポットは、海を真下に、潮風を受けながら、波のダイナミックさを味わえるスリル満点の場所になっています。

●住所=いわき市小名浜下神白字大作93

目次

- 表紙 “太平洋を眼下に見下ろせる絶景ポイント”
1～5 中小企業景気動向調査の集計結果
特別調査「中小企業における災害等への対応について」
6 企業紹介「ヤマキ寝具」
7 市内の観光歴史めぐり：住吉神社／向日葵



街の応援団・町のパートナー
ひまわり信用金庫



中小企業景気動向調査の集計結果

[調査対象企業数 400社]
 [回答企業数 396社]
 [回収率 99.0%]

景気動向調査回答企業

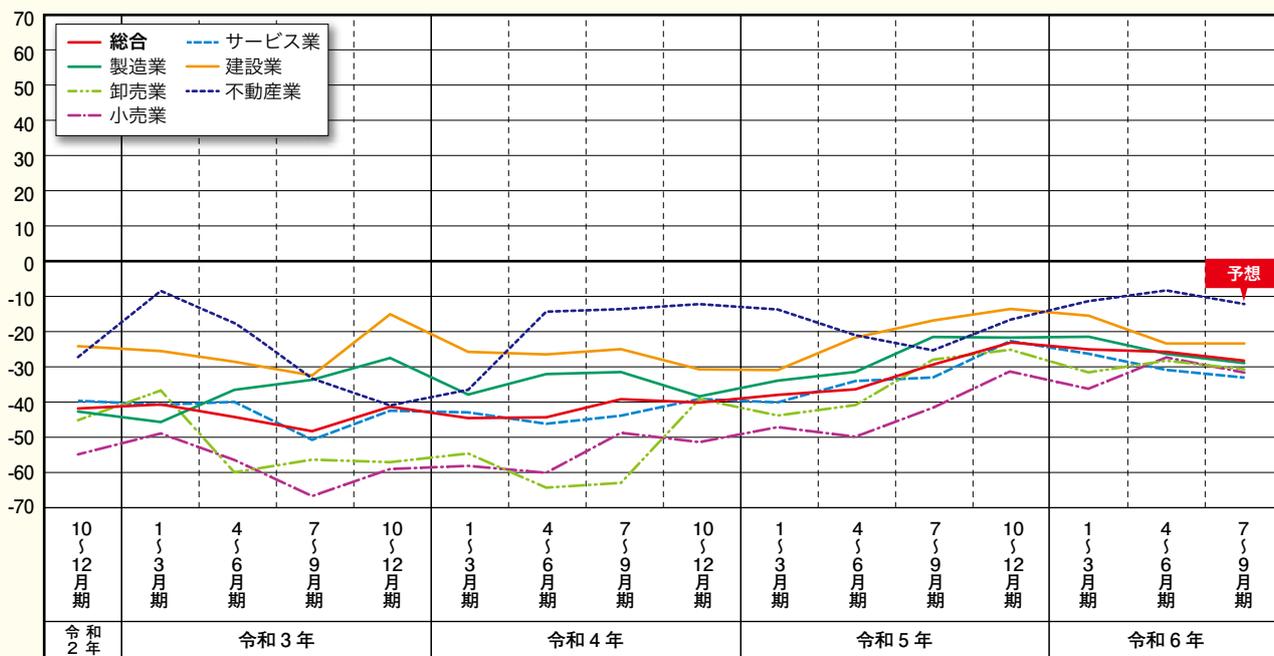
(先)

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央台支店の地域)	28	15	47	32	25	10	157
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	30	13	37	26	26	9	141
勿来方部 (植田・錦・勿来・中岡支店の地域)	21	4	31	21	16	5	98
合計	79	32	115	79	67	24	396

概況

業況はわずかに悪化し、先行きについても悪化する見通し

令和6年4月～6月期の自企業の業況DIを前回調査(令和6年1月～3月期)と比較すると、いわき市全域で「悪化」超26.0%と1.3ポイント悪化超幅が拡大した。前回調査時の「今期予想」では「悪化」超を30.3%とみていたので、予想よりも4.3ポイント悪化超幅が縮小した。地域別では、平・内郷方部は「悪化」超16.6%と2.6ポイント悪化超幅が拡大、小名浜・常磐方部も「悪化」超31.2%と0.2ポイント悪化超幅が拡大、勿来方部も「悪化」超34.0%と1.0ポイント悪化超幅が拡大した。先行き(令和6年7月～9月期)は、いわき市全域で「悪化」超28.5%と、悪化超幅の拡大が見込まれている。



自企業の業況

※ DI (Diffusion Index) 値とは

景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値で、「とっかけ」の指標はDI値を使用しています。

業種別・地域別業況

一部業種で改善が見られたものの、業種全体ではわずかに悪化。先行きも業種全体では悪化で推移する見通し

前回調査（令和6年1月～3月期）と今回調査（令和6年4月～6月期）を業種別にみると、製造業は「悪化」超26.6%と悪化超幅が6.1ポイント拡大、サービス業は「悪化」超30.4%と悪化超幅が5.1ポイント拡大、建設業は「悪化」超23.9%と悪化超幅が13.1ポイントと大幅に拡大、不動産業も「悪化」超8.3%と悪化超幅が4.0ポイント拡大した。一方、卸売業は「悪化」超28.1%と悪化超幅が3.2ポイント縮小、小売業は「悪化」超27.0%と悪化超幅が10.1ポイントと大幅に縮小した。

先行き（令和6年7月～9月期）は、建設業を除くすべての業種で悪化超幅が拡大することから、業種全体では「悪化」超28.5%と悪化超幅の拡大が見込まれている。

業種別の業況

() は前回調査時の今期予想 [単位:%]

業種別	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期	令和6年7月～9月期(予想)
総合	▲24.7	▲26.0(▲30.3)	▲28.5
製造業	▲20.5	▲26.6(▲25.6)	▲29.1
卸売業	▲31.3	▲28.1(▲34.4)	▲31.3
小売業	▲37.1	▲27.0(▲41.4)	▲30.4
サービス業	▲25.3	▲30.4(▲36.7)	▲32.9
建設業	▲10.8	▲23.9(▲12.3)	▲23.9
不動産業	▲4.3	▲8.3(▲13.0)	▲12.5

地域別の業況 [方部別の推移]

[単位:%]

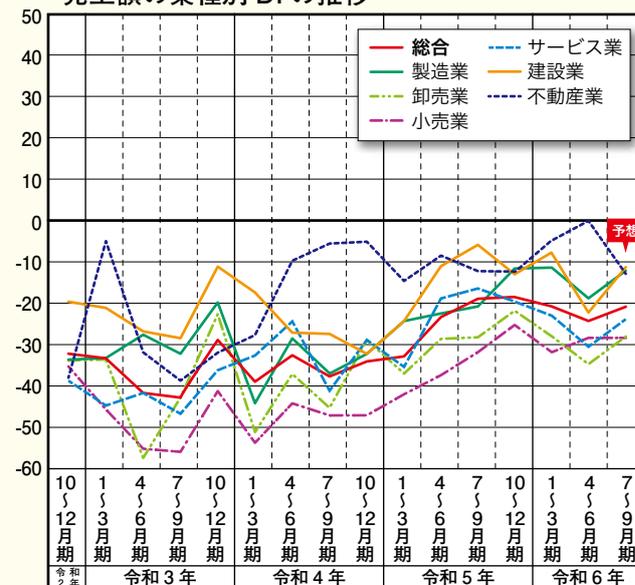
方部別	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期	令和6年7月～9月期(予想)
いわき市全域	▲24.7	▲26.0	▲28.5
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央支店の地域)	▲14.0	▲16.6	▲20.4
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	▲31.0	▲31.2	▲31.9
勿来方部 (植田・錦・勿来・中岡支店の地域)	▲33.0	▲34.0	▲36.7

※▲は「悪化」超

▶▶ 売上額

売上額は、前回調査（令和6年1月～3月期）の「減少」超20.1%に対し、今回調査（令和6年4月～6月期）では、「減少」超24.7%と4.6ポイント減少超幅が拡大した。また、先行き（令和6年7月～9月期）は、「減少」超20.7%と売上額の減少を見込まれている企業がやや減少している。

売上額の業種別 DI の推移



▶▶ 受注残

製造業における受注残は、前回調査（令和6年1月～3月期）の「減少」超14.1%に対し、今回調査（令和6年4月～6月期）では、「減少」超18.5%と4.4ポイント減少超幅が拡大した。先行き（令和6年7月～9月期）は、「減少」超12.3%と受注残の減少を見込まれている企業が減少している。

建設業における受注残は、前回調査（令和6年1月～3月期）の「減少」超10.8%に対し、今回調査（令和6年4月～6月期）では、「減少」超14.9%と4.1ポイント減少超幅が拡大した。先行き（令和6年7月～9月期）は、「減少」超9.0%と、受注残の減少を見込まれている企業が減少している。

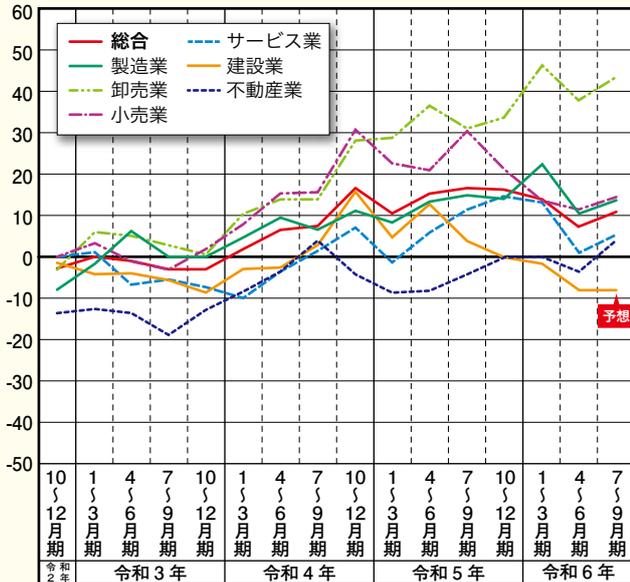
▶▶ 施工高

建設業における施工高は、前回調査（令和6年1月～3月期）の「減少」超6.2%に対し、今回調査（令和6年4月～6月期）では、「減少」超11.9%と5.7ポイント減少超幅が拡大した。

先行き（令和6年7月～9月期）は、「減少」超7.5%と施工高の減少を見込まれている企業がやや減少している

▶▶ 販売・請負価格

販売・請負価格の業種別 DI の推移

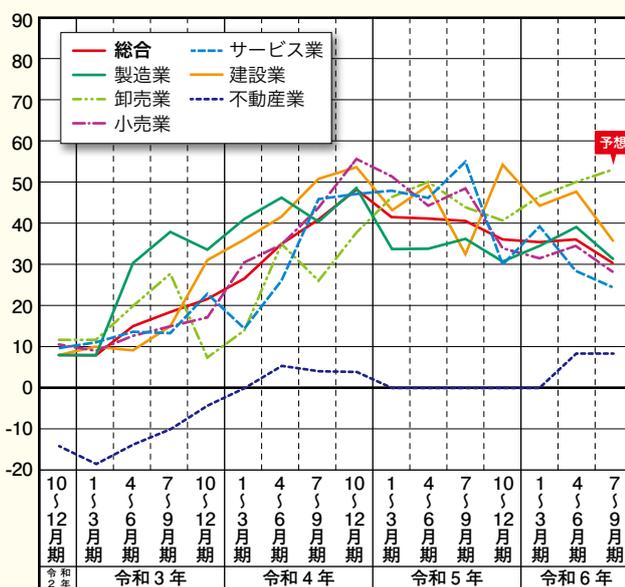


販売・請負価格は、業種全体で前回調査（令和6年1月～3月期）の「上昇」超14.8%に対し、今回調査（令和6年4月～6月期）では、「上昇」超7.1%と7.7ポイント上昇超幅が縮小した。

業種別では、すべての業種で「上昇」超幅が縮小した。先行き（令和6年7月～9月期）は、建設業を除くすべての業種で「上昇」超幅が拡大することから、業種全体では「上昇」超10.6%と販売・請負価格の上昇を見込まれている企業がやや増加している。

▶▶ 原材料・仕入れ価格

原材料・仕入れ価格の業種別 DI の推移



原材料・仕入れ価格は、業種全体で前回調査（令和6年1月～3月期）の「上昇」超35.5%に対し、今回調査（令和6年4月～6月期）では、「上昇」超36.2%と0.7ポイント上昇超幅が拡大した。

先行き（令和6年7月～9月期）は、業種全体で「上昇」超30.1%と原材料・仕入れ価格の上昇を見込まれている企業が減少している。

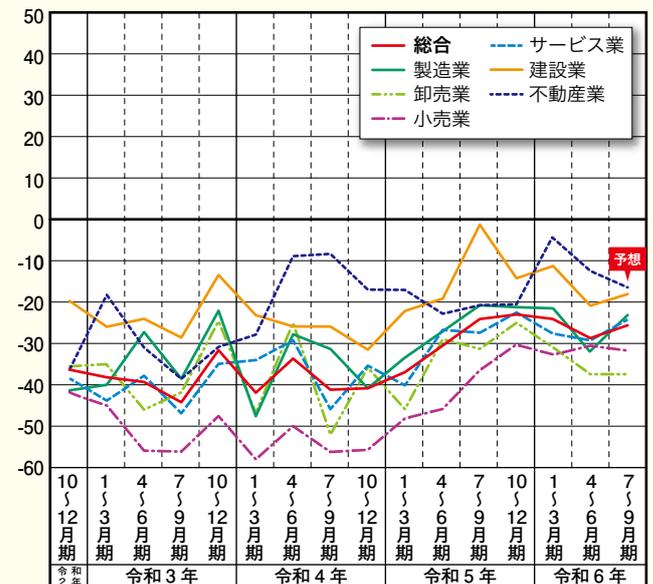
▶▶ 収益

収益は、業種全体で前回調査（令和6年1月～3月期）の「減少」超24.2%に対し、今回調査（令和6年4月～6月期）では、「減少」超28.5%と4.3ポイント減少超幅が拡大した。

業種別に前回調査（令和6年1月～3月期）と今回調査（令和6年4月～6月期）を比較すると、製造業、卸売業、サービス業、建設業、不動産業は減少超幅が拡大、小売業は減少超幅が縮小した。

先行き（令和6年7月～9月期）は、業種全体で「減少」超25.8%と収益の減少を見込まれている企業がわずかに減少している。

収益の業種別 DI の推移



▶▶ 在庫

在庫の状況は、業種全体で前回調査（令和6年1月～3月期）の「不足」超3.8%に対し、今回調査（令和6年4月～6月期）では、「過剰」超0.3%と過剰超に転じた。先行き（令和6年7月～9月期）は、卸売業、不動産業は今回調査と同数、小売業は「過剰」超から「不足」「増加」が同数の0.0%、建設業は不足超幅が縮小、製造業は「過剰」超から「不足」超に転じることから、業種全体で「不足」超2.5%に転じることが見込まれている。

▶ 資金繰り

資金繰りは、引き続きすべての業種で「苦しい」超となっており、業種全体でも「苦しい」超20.5%となった。

先行き（令和6年7月～9月期）も、すべての業種で「苦しい」超としており、業種全体で「苦しい」超19.0%となり、資金繰りは、今後も厳しい状況が続くものと思われる。

▶ 金融機関借り入れ状況

金融機関からの借り入れ状況は、全体の87.9%の企業が「借り入れしない」とした。

今後の借り入れ予定についても、すべての業種で「借り入れの予定なし」とした企業が「借り入れの予定あり」とした企業を上回っており、全体の94.2%の企

業が「借り入れの予定なし」としている。

また、金融機関からの借り入れ難易度は、「難しい」・「該当なし」とする企業の割合が前回調査（令和6年1月～3月期）の89.8%に対し、今回調査（令和6年4月～6月期）では、89.1%となり、借り入れは行わないとする考え方は、依然として変わっていない。

▶ 設備の状況

設備の状況は、約9割の企業（令和6年4月～6月期89.5%、令和6年7月～9月期予想90.9%）が「適正」とした。

なお、「適正」以外の回答をみると、今回調査（令和6年4月～6月期）でも、全ての業種で「不足」・「やや不足」とする企業が「過剰」・「やや過剰」とする企業を上回ったことから、業種全体で「不足」超6.7%と前回調査と同様「不足」超の状況となった。

設備投資の実施・予定

上段：先数
下段：比率（%）

業種	令和6年4月～6月期							令和6年7月～9月期						
	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車 両	その 他	実施しない	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車 両	その 他	実施しない
総 合	6 1.6	8 2.1	7 1.8	14 3.6	14 3.6	1 0.3	334 87.0	0 0.0	8 2.1	4 1.0	11 2.9	16 4.2	2 0.5	340 89.3
製 造 業	2 2.4	4 4.8	2 2.4	3 3.6	4 4.8	0 0.0	69 82.0	0 0.0	2 2.4	1 1.2	2 2.4	4 4.9	0 0.0	73 89.1
卸 売 業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	31 96.9	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	31 96.9
小 売 業	1 0.9	—	—	2 1.7	3 2.6	1 0.9	110 93.9	0 0.0	—	—	2 1.7	4 3.5	2 1.7	107 93.1
サービ 業	0 0.0	1 1.3	2 2.5	2 2.5	3 3.8	0 0.0	71 89.9	0 0.0	2 2.5	1 1.3	3 3.8	4 5.0	0 0.0	70 87.4
建 設 業	3 4.2	3 4.2	3 4.2	6 8.3	4 5.6	0 0.0	53 73.5	0 0.0	3 4.2	2 2.8	4 5.6	4 5.6	0 0.0	59 81.8

経営上の問題点

（複数回答）

項 目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
売上の停滞・減少	187	33	20	59	32	33	10
同業者間の競争の激化	100	9	9	24	22	24	12
原材料高（材料価格の上昇）	85	39	—	—	17	29	—
利幅の縮小	70	19	9	25	5	9	3
人手不足	59	17	1	14	10	17	0
大手企業（大型店）との競争の激化	45	3	—	24	8	7	3
仕入先からの値上げ要請	44	8	9	27	—	—	—
人件費の増加	29	12	3	2	9	3	0
商圈人口の減少	22	—	—	13	9	—	—
取引先の減少	19	—	5	9	5	—	—
工場（店舗）・設備（機械）の狭小・老朽化	15	4	1	3	7	—	—
販売商品（商品物件）の不足	14	—	3	4	—	—	7
その他	90	17	10	22	17	17	7
問題なし	30	6	1	9	6	4	4
合 計	809	167	71	235	147	143	46

当面の重点経営施策（経営のポイント）

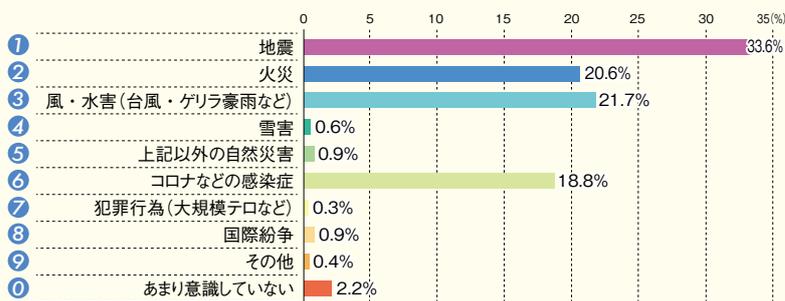
（複数回答）

項 目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
経費を節減する	222	42	21	64	43	42	10
販路を広げる	87	32	15	—	15	21	4
宣伝・広告を強化する	66	—	—	35	22	—	9
人材を確保する	54	16	0	10	13	15	0
情報力を強化する	39	12	9	—	—	8	10
品揃えを改善（充実）する	37	—	9	28	—	—	—
提携先を見つける	27	13	8	—	2	—	4
技術力を強化する（高める）	20	—	—	—	8	12	—
売れ筋商品を取り扱う	14	—	—	14	—	—	—
教育訓練を強化する	11	3	0	2	4	2	0
店舗・設備を改装する	11	—	—	10	1	—	—
商店街事業を活性化させる	10	—	—	10	—	—	—
その他	68	23	4	16	9	11	5
特になし	43	10	3	16	9	3	2
合 計	709	151	69	205	126	114	44

特別調査「中小企業における災害等への対応について」

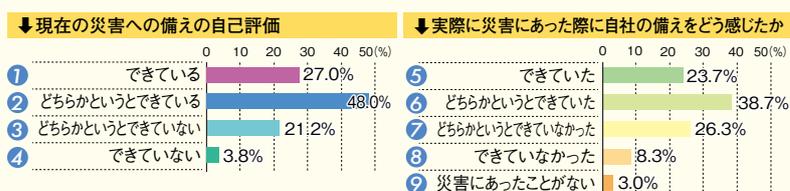
問 1

貴社では、普段どのような災害を意識していますか。1～0の中から3つまで選んでお答えください。



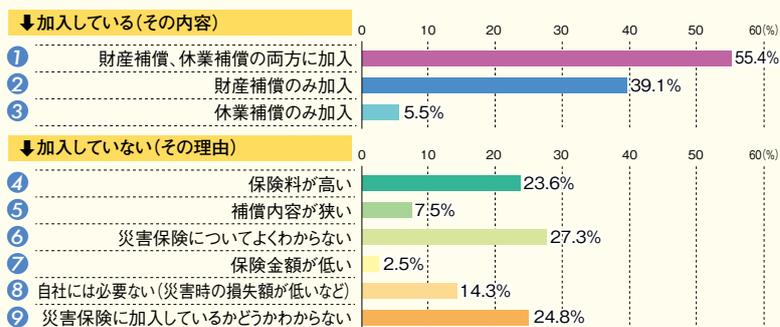
問 2

貴社では、自社の現在の災害への備えについてどのように評価していますか。1～4の中から選んでお答えください。
また、実際に災害にあった際、自社のそれまでの備えについてどう感じましたか。5～9の中から選んでお答えください。



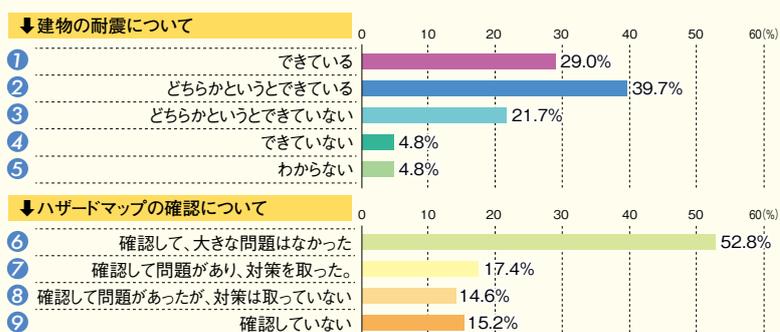
問 3

貴社では、業務継続にかかる保険、具体的には財産補償(設備や店舗が損壊した時の補償)や休業補償(休業を余儀なくされた時の損害の補償)に加入していますか。加入している方はその内容について1～3の中から、加入していない方はその理由について最も当てはまるものを4～8の中から選んでください。
わからない方は9を選んでもください。



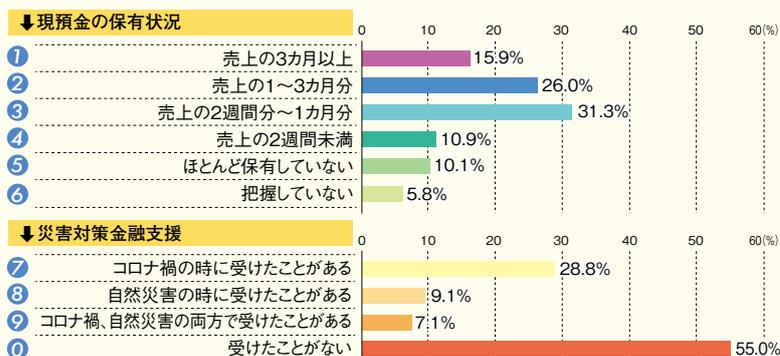
問 4

貴社では、使用している建物の耐震について、どのように考えていますか。1～5の中から選んでお答えください。
また、自社所在地周辺のハザードマップ(洪水や土砂災害、地震、津波など)を確認していますか。状況について最も当てはまるものを6～9の中から選んでお答えください。



問 5

災害時への対応として、一定程度の現預金を保有しておくことがBCP策定基準などで推奨されています。貴社では、通常、現預金をどの程度保有していますか。現預金の保有が最も少ない時期(売掛金の回収直前など)を想定したうえで、1～6の中から選んでお答えください。また、貴社では、自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援(災害復旧貸付やセーフティネット保証4号など)を受けたことがありますか。7～0の中から選んでお答えください。



企業紹介

public relations

ヤマキ寝具



代表取締役 八巻 義英

住 所：〒971-8101 いわき市小名浜字下明神町39 (本部)
電話番号：0246-92-2667 (本部)
営業時間：午前10時～午後6時 (小名浜蔵店)
休 日：水曜日 (小名浜蔵店)



当社は昭和24(1949)年、布団を打ち直す綿店として産声を上げ、今年で創業75年を迎えました。国内最大手の寝具メーカー「西川」のチェーンとして、枕や布団などの眠りにかかわる商品を小売しています。

質の高い眠りを通して、健康・美・精神的な癒やしなど、現代社会に求められる“快適な生活”をお届けすることが私たちの仕事です。来店していただいたお客様のことをよく考え、親身になって相談に乗る、そのような店舗、会社を目指しています。

特に寝具の重要性に気づかされたのは、東日本大震災の発生直後でした。営業を再開した途端、多くのお客様が買い求めに来て下さり、温かい布団でぐっすり眠れることが、どれほど生きる活力につながるかということを再認識しました。

水や食料と同じように、「インフラ」とも言える寝具の持つ力をより多くの方々に伝え、高品質で感動する眠りを提案し、いわき、福島、日本、世界が元気になる「素」を睡眠を通じて作り出していけるよう、励んで参ります。



【編集室から】

日本人の平均睡眠時間は一部調査で6時間20分ほどとされ、先進国で最低レベル。睡眠不足による国内の経済損失は、年間で約15兆円にのぼるとの試算もあります。

そうした中、寝具を販売するだけでなく、悩みに寄り添いアドバイスも行うのが、ヤマキ寝具の強み。専門研修を修了したスリープマスターエキスパートら「アドバイザー」が多数在籍し、快適に眠るための提案を行ってくれる。本部の小名浜蔵店は、筑波大の柳沢正史教授が顧問を務める「日本睡眠科学研究所」の研究成果を生かした、睡眠コンサルティングサービス「ねむりの相談所」でもあり、睡眠の効用はトップアスリートも注目。MLBのロサンゼルス・ドジャースに所属する大谷翔平選手は、西川の高機能マットレスを採用、同商品はヤマキ寝具でも取り扱っており、県内外6店舗、いわき市内では小名浜蔵店をはじめ、小名浜美食ホテル店、いわき平ペッペ店の3店舗で販売しております。

市内の
観光歴史めぐり



(所在地：いわき市小名浜住吉字住吉 1)

住吉神社
(すみよしじんじゃ)

いわき市には、多くの観光歴史名所があります。「市内の観光歴史めぐり」として、住吉神社を紹介いたします。

住吉神社は延喜式内社(延喜年間、西暦901～923年に作成された書物に記録されている神社のこと)であり、全国住吉七社の一社に数えられ、各地の住吉神社同様、安産・海上安全・清祓・学問・芸術の神として信仰されています。

建内宿禰(たけのうちのすくね)が創立し、祈願したとの古伝があり、東北一の社(やしろ)として崇敬された、最も古い神社の一つです。

寛永18(1641)年、平藩領主である内藤政長(ないとうまさなが)の子政晴(まさはる)により建てられた本殿の構造形式は三間社流造り(さんげんしゃながれづくり)、屋根は銅板葺になっており、昭和33年8月1日、県重要文化財に指定されています。また、正面中央一間には金金具を打ち付けた板唐戸があり、胴部前面、欄間、脇障子には、元文5(1739)年になる翁姥(おきなうば)、四天王、花、瑞獣(ずいじゅう)などの彫刻がはめ込まれています。



●秋の大祭は、10月中旬に行われています。勅使参向式(ちよくしさんこうしき)、流鏝馬(やぶさめ)、巫女舞(みこまい)などの神振行事が同時に催され、遠近より多くの人々が訪れます。



●勅使参向式
勅使役は5歳から8歳までの長男に限るとの掟があり、衣冠束帯に身を固め、馬に乗り参詣します。

●流鏝馬



●巫女舞



column
向日葵

日本銀行福島支店が7月に公表した2024年6月分の福島県金融経済概況は、県内景気は、緩やかな持ち直しを続けているものの、そのペースは鈍化している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、回復ペースが鈍化している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、能力増強投資などがみられており、緩やかに持ち直している。公共投資は、減少していると公表されております。

一方、当金庫の景気動向調査では、いわき市全域では令和6年1月から3月期の前回調査と比較し、令和6年4月から6月期の今回調査では、一部業種で改善が見られたものの、業種全体ではわずかに悪化しており、先行きについても更に悪化する見通しとなっております。また、資金繰りについては、依然としてすべての業種で「苦しい」超となっており、先行きについてもすべての業種で「苦しい」超となっています。当金庫は、今後もお客様の様々な課題解決のお手伝いをさせていただき、お客様に寄り添い、積極的にかつ迅速に取り組んで参ります。

発行/ひまわり信用金庫

〒970-8026 いわき市平字二町目10

編集/総務部 総務グループ TEL.0246-23-8500

☐ <http://www.shinkin.co.jp/himawari/>

▶『とっかけ』とは 「始める」「取りかかる」という意味のいわき地方の方言です。この情報を、何かを始めようとする時のきっかけ、取っかかりにして頂ければ幸いです。